

危機管理論Ⅱ

科目ナンバリング SSE-102

【V】 選択 2単位

宮田 智之

1. 授業の概要(ねらい)

本授業では、アメリカの外交安全保障政策について学びます。

長年、アメリカは世界の様々な問題の解決に向けて積極的に関与することで、国際社会に多大な影響力を及ぼしてきました。しかし、近年アメリカのリーダーシップの低下が見られ、トランプ政権ではそうした傾向が顕著に見られました。言うまでもなく、新型コロナ危機への対応はその最たるケースであり、新たな感染症の封じ込めやワクチンの世界的な供給体制の確立のために、トランプ政権が国際社会を先導することはありませんでした。

本授業では、トランプ政権以降のアメリカの外交安全保障政策に焦点を当てることで、アメリカと国際社会の現状について学習したいと思います。

2. 授業の到達目標

①「危機管理」というテーマを通じて政治や社会の動きについて関心をもつことができるようになります。

②国際情勢をはじめ時事問題への理解が深まります。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験と平常点に基づき評価します。それぞれの割合は、期末試験：70%、平常点(リアクションペーパー)：30%です。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

LMS掲載の資料を活用して予習と復習をしっかりと行って下さい。

6. その他履修上の注意事項

①質問は大歓迎です。疑問点、わからない点などがあれば授業後に聞いてください。

②授業の進行の妨げとなりますので、授業中の私語や途中退席等は謹んで下さい。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 冷戦後の世界
- 【第3回】 2016年大統領選挙の衝撃
- 【第4回】 トランプ政権の特徴①：人事
- 【第5回】 トランプ政権の特徴②：主な政策
- 【第6回】 同盟関係①：NATO
- 【第7回】 同盟関係②：日米・米韓
- 【第8回】 米露関係
- 【第9回】 米中関係①：経済通商
- 【第10回】 米中関係②：安全保障
- 【第11回】 新型コロナウイルスのパンデミック
- 【第12回】 2020年大統領選挙をめぐる混乱
- 【第13回】 バイデン新政権の特徴①：人事
- 【第14回】 バイデン新政権の特徴②：主な政策
- 【第15回】 民主主義の世界的後退